巴峡三次かわまちづくり計画（案） パブリック・コメント ご意見に対する三次市の考え方

部署名：都市建築課

巴峡三次かわまちづくり計画（案）について、令和6年2月15日から令和6年3月5日までパブリック・コメントを募集しました。

パブリック・コメントでは1通1件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見に対する三次市の考え方について、次のとおり取りまとめましたので、報告いたします。ご意見をお寄せいただいた方のご協力を厚くお礼申し上げます。

番号	ご意見の概要	三次市の考え方
1	<p>グリスロをなぜ導入するのが分からない。というのは、一つに、十日市親水公園から祝橋北側まで遊覧船を導入することとしているなかで、並行させる形になること。二つに、仮に出店ブース・各地の親水公園などの施設への集客が見込めたところで、その人々が使うか否か（彼らのニーズと合致するか・定員の都合上乗れる保証もないものに1時間待てるかなど）の検討がなされていないと思われること。三つに、図中の区間すべてで運転するのなら、片道3km近くに及び、一台で運行できるのは1時間に1往復が限度である中で、乗務員確保も含め、運行計画はあるのかも疑わしい点というのが挙げられる。</p> <p>観光客誘致は川沿いだけ単体で考えても詮無いので、三次町など周辺の観光計画との整合を図りつつ進めるべきで、裏付けなしの思い付きで進めるものではないと思う。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>本巴峡三次かわまちづくり計画は、三川合流が育む歴史・伝統・文化を活かした「観光おもてなし拠点づくり」を基本方針とし、これまでのかわまちづくりを基盤としつつ、さらに取組みを進めようとするものです。本計画の一つに鶴飼乗船場から尾関山公園周辺の間での遊覧船による観光の推進があります。ご意見いただきましたグリーンスローモビリティについては、遊覧船を乗船した方の乗船場へ戻る手段の一つとして、また、三川合流部に留まらず、三次町内での周遊性も高めようとするものです。一方で、ご意見をいただいた課題も十分に考えられることから、実施にあたっては社会実験等をおし、課題や問題点を把握の上、慎重な検討が必要であると考えます。今回いただいたご意見は、実施検討をする際の貴重なご意見として承ります。</p>

【連絡先】

住所：三次市十日市中二丁目8番1号

部署：三次市建設部都市建築課

電話：0824-62-6160 ファックス：0824-62-6166

Eメール：toshikenchiku@city.miyoshi.hiroshima.jp